すべての人のために



宗教法人オウム真理教


願わくば、すべての魂がマハー・ニルヴァーナに入るまで
シヴァ大神の僕として救済活動をし
マハー・ニルヴァーナに入る最後の魂とならんことを……

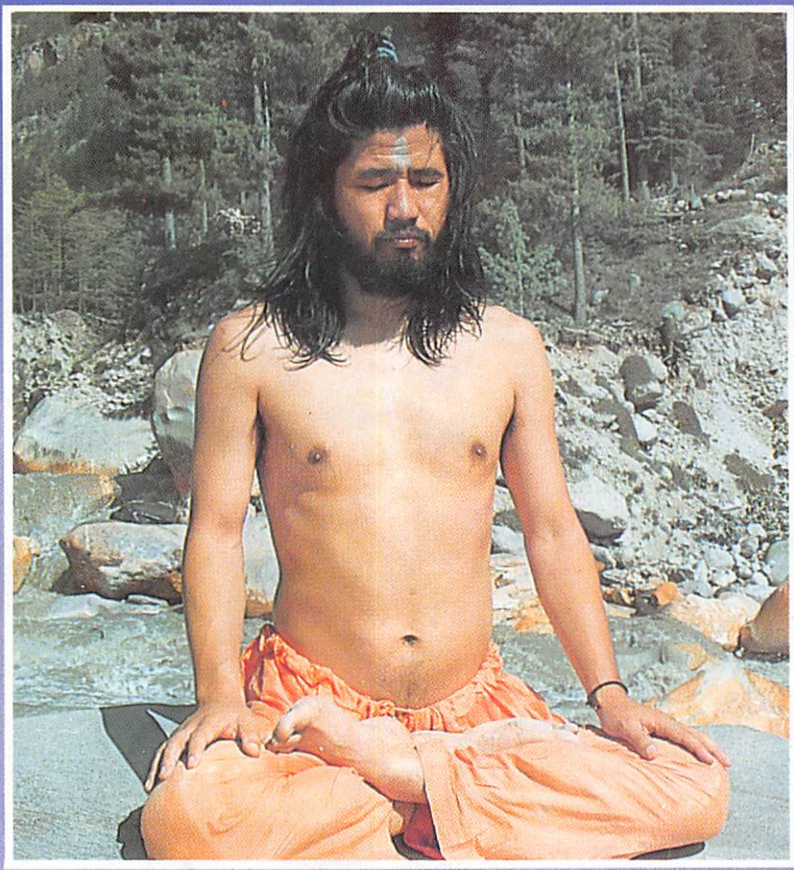


真理の御魂（みたま） 最聖 麻原彰晃尊師の救済を実現するために

この社会は様々な物にあふれています。街には物があふれ、わたしたちは豊かな生活を送ることができます。しかし、その一方、物質では満足できない意識、いくら物を得ることができても、お金を得ることができても埋められない心のすき間があるということに、だれもが気づいているのではないでしょうか。「豊か」といわれながら心は苦しめられ、例えば、老・病・死など避けては通れない苦しみに多くの人が縛り続けられているのが実態ではないでしょうか。

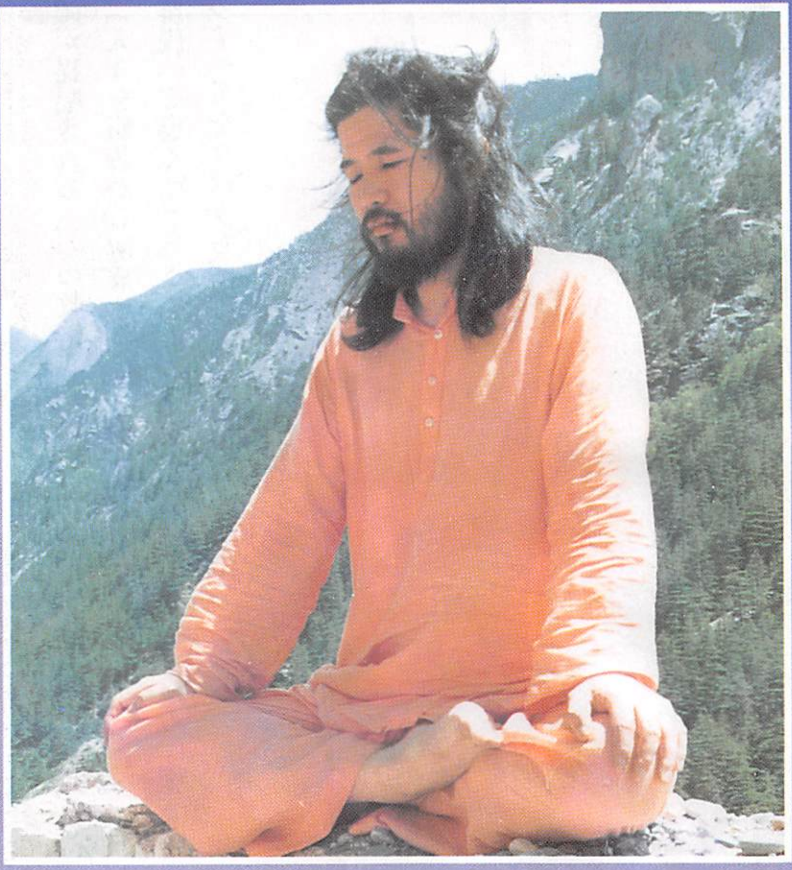
オウム真理教――真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師の救済理念によって、シヴァ大神を主宰神として一九八七年に設立されました。麻原尊師の救済理念とは、「人々を病苦からの解放する」「この世での幸福をもたらす」「悟り・解脱へと導く」という〝三つの救済〟を核としたものです。以降、すべての人々に幸福をもたらすため、尊師は自己のすべてをなげうち、あらゆる面から救済活動を展開しています。

最終解脱から救済へ



仏教の開祖、サキャ神賢真理勝者（釈迦牟尼）が生の無常性を感じられて厳しい修行の道に入られたのは有名な話です。麻原尊師の宗教的な実践も、まさにこの無常とそこから生起する苦悩という人生の根本的な課題からの出離を目指して始められました。

修行の道に入られた尊師は、運命学や仙道、ヨーガなどに没頭され、その奥義を極められました。しかし、それらは尊師を満足させるには至りませんでした。これらの修行である段階までの魂の進化は得られましたが、それらは究極の段階に導くものではなかったからです。そこでさらなる模索の末に到達されたのが原始仏教、原始ヨーガの教えでした。形骸化された仏教ではなく、サキャ神賢真理勝者がお説きになった教えに



触れられ、深い実践に入っていかれ、そして、長く厳しい修行の末に、一九八六年、崇高なる覚醒を得たのです。その瞬間、すべての苦悩は滅し、生と死の壁は破られ、絶対の自由と幸福、二度と壊れることのない至福の状態が訪れました。最終解脱——八年に及んだ過酷な修行の末に、サキャ神賢真理勝者が到達した境地に立たれたのです。

しかし、一切の苦悩から解放された尊師の胸に一つの思いが残りました。他の魂が苦しんでいる姿に、最後の救世主は「わたしの魂は満足しなかった」と感じられたのです。ここに、——自己の苦しみを喜びとし、他の苦しみを自己の苦しみとする——大いなる慈愛による救済活動が始まったのでした。

様々な救済活動

三つの救済活動をすべての人に

麻原尊師が提唱される三つの救済、それは、それは、「人々を病苦から解放する」「この世の幸福をもたらす」「悟り・解脱へと導く」ことです。この三つの救済を達成するために尊師は、ご自分のすべてをなげうち、様々な活動をしています。



◉「人々を病苦から解放する」

一億総半病人時代と呼ばれる現代、ストレスから、難病、不治の病と呼ばれるものまで、わたしたちの周囲はまさに病気だらけ。これは、わたしたちの病んだ心の現われといえます。病気はその本人ばかりではなく家族や身近な者をも暗い気持ちにさせます。しかも、いつ我々を襲ってくるか見当もつきません。尊師は修行上の経験から生じた力により、病の原因を究明し、すべての人々をこの病苦から解放する救済活動に力を注いでいます。

取り戻した健康

◉視力回復
失った光が戻った！



福田博久

一歳のとき、角膜白斑という病気にかかりました。それから左目はほとんど見えず、視力〇・〇一という失明に近い状態でした。何とか少しでも視力が回復しないかと、オウム真理教に相談しました。目を治すにはクリヤ・ヨーガがいいということで、夏休みを利用して本気でやってみることにしました。そして、二週間経って視力を測ってみると、たった二週間で視力が〇・一まで回復していました。（北海道）

◉リューマチ
知らぬ間に痛みが消えた



田中和利

ある日突然、強烈な痺れが右腕に走りました。日ごとにその痺れはひどい痛みに変わり、左腕にも広がり、つらさと一生つきあうことになるんだと思っていました。やがてオウム真理教に出合ったのです。修行を始めると体の調子が良くなり、仕事をしても疲れなくなりました。そして、ついには痛みもなくなりました。オウム真理教の修行で治ってしまったのです。（北海道）

●喘息

解放！呼吸困難の苦しみ



大石章文

小さなころから中学生くらいまで、喘息の発作に苦しみ、年を取るにつれ回数は減ったものの、季節の変わり目、不規則な生活、ストレスが重なるとやはり発作が出ました。オウム真理教の修行を知り、これは効果がありそうだと始めました。特にクリヤ・ヨーガの講習会には欠かさず出席して、しっかり修行しました。その結果、最近では喘息どころか風邪すらひかなくなっています。（宮城県）

●アトピー性皮膚炎

初めてさわやかな夏を



大森恵子

幼いころからずっとアトピー性皮膚炎とつきあってきました。評判の薬や健康器具などを勧められるままに試してみましたが、根本的には治癒されませんでした。夏や季節の変わり目には、手や足のかさぶたから血膿が吹き出してきて夜も眠れず、入院したこともあります。そんなわたしがオウム真理教に心ひかれ、布施の実践、クリヤ・ヨーガ、心を浄化するザンゲと、頑張って修行しました。すると、あんなにひどかったアトピーの症状は消えて、肌はツルツルになりました。その年の夏は初めてさわやかに過ごしました。（山口県）

●「この世の幸福をもたらす」

「この世に生きているだれもが幸せになってほしい」——これが麻原尊師の願いです。生きていく上で、わたしたちは様々な不幸な出来事に直面します。しかし、不幸を寄せつけず、幸福だけを呼ぶことができたら、本当に楽しい人生を送ることができるでしょう。オウム真理教の修行は、仏教の理論にのっとった法則の実践によって、功徳を積み、イニシエーションを受けたりすることでこの世を自在に生きることを可能にします。

つかみました幸福

一気に一年分のノルマ達成！



前嵜正廣

オウム真理教に入信し、奉仕活動を始めたところ、仕事上で「このようになればいいなあ」「こうなるんだろうな」と思えば、すぐそのとおりになるという現象が立て続けに起こるようになりました。特に、ほとんど労せずに、超特大の受注が取れ、一年分のノルマを二月の時点で一気に達成してしまったのには自分でも驚きました。功徳と修行の効果には、本当に脱帽です。（東京都）

生活も心も豊かになって



野崎栄子

修行を始め、気がついたらいつの間にか経済的に安定するようになっていました。仕事の上での収入が多くなり、家族の仕事の状態も良くなって、生活も心も豊かになっていったのです。また、財施をするとその分を埋めるかのように、それ以上のお金が入ってくるようにもなりました。また、家で仕事もできるという最高の条件で良い家が手に入り、さらに仕事が円滑に進められるようになりました。（東京都）

落ちこぼれからトップに



稲葉紀人

中学で遊んでしまったわたしは、三流高校へ進学せざるを得ませんでした。しかも、その高校でも遊んでいたため、落ちこぼれてしまいました。しかし、オウム真理教に入信した学期から成績が上がり始め、最初に同学年の生徒を百六人抜き、次の学期には九十人抜き、その次には六十人抜きました。そして、一年もしないうちに先生に期待されるようになり、大学模試では学年で一番、実力試験も四番と、いつの間にか人にうらやましがられるようになっていました。（東京都）

◉「悟り・解脱へと導く」

魂の真の意味での救済、それがこの「解脱・悟り」です。この世の中のすべては、無常すなわち移り変わっていくものです。そして、その移り変わりゆえにわたしたちは楽しみを経験する反面、苦しみも経験しなければなりません。そんな不安定なものではなく、壊れることのない絶対的な自由・幸福・歓喜の追求、それがこの「解脱・悟り」のための修行の目的です。そして、麻原尊師は、わたしたちをこの解脱・悟りに導いてくださる最高のグル（霊的指導者）なのです。

至高の宝を手にして



聖者マハー・ケイマ最上善逝

一瞬のうちに自分の心が変化してしまいました。パッと心が軽くなって、体のだるさが一気にとれてしまいました。もう、あれは奇跡というか、すごい体験だったとしかいいようがありません。心も体も考え方もすべて変化してしまったと。それまで『苦』だったものが『苦』でなくなってしまうということは、とても言葉では表現できませんね。



聖者マイトレーヤ最上善逝

瞑想課題について思索し始める。性欲について思索を始めた。その瞬間だった。性欲がズバッと落ちた。続けてプライドについて瞑想した。すると、思索を始めてすぐに、プライドに対応するチャクラのあたりに何かがチカッと光って消滅した。そして、強いエネルギーが昇り、目の前で光が満たされていった。……「煩悩は本当に滅することができるんだな」と、わたしは実感した。それは、わたしが修行を始めてからずっと求め続け、初めて体験した〝本当の喜び〟だった。煩悩を満たすことによっては絶対に得られない、自分のすべてが喜んでいる状態だった。



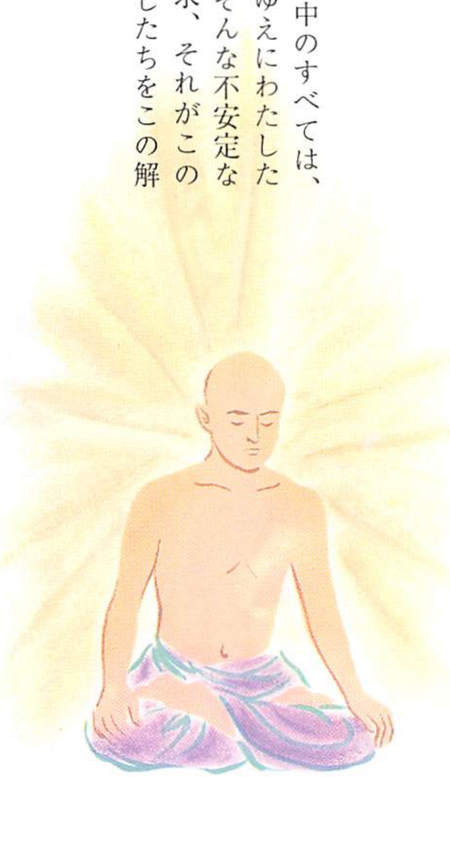
聖者アヌーパマ到達光正師

そのとき、わたしの心は満ち足りて、求めるものはもう何もなかった。周りは自己の内側の光で照らされ、その明るい空間の中にわたしは座っていた。……いっさいの欲求がわいてこない。雑念もわいてこない。完全に無思考の状態――。こんな静かな平安な状態は初めてだ。……この後、煩悩が引きちぎれるように落ちていった。目の前を白い餅のような煩悩の塊がぶちぶちと 落ちていく（なぜか、煩悩が塊のように感じられる）。性欲が落ちていく。食欲も落ちていく……。わたしは自分の呼吸が完全に止まっているのを認識した。



聖者タントラデュパ到達光正師

どんどん瞑想状態が明るくなり、たった一人で座っていると、心が寂静へと溶け込んでいくような感じがしました。軽くて広い心の状態です。瞑想を終わって目を開けると、辺りがキラキラ輝いて見えました。光に満ちた空間だけがあり、もう何もいらない――そんな気持ちがしました。心には雑念がなく、時間の流れも止まっているのです。この延長にニルヴァーナ――涅槃があるとするならば、戻ってきたくはないだろうな、そんなことを考えました。



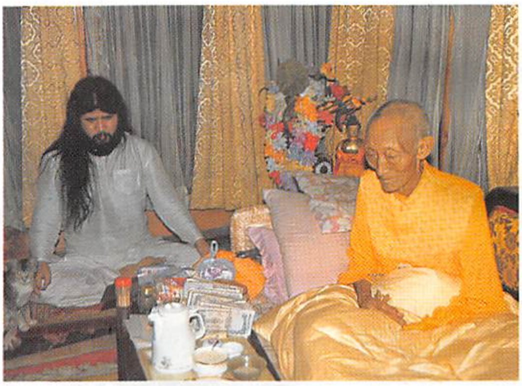
世界の聖者たちが絶賛する麻原尊師



ダライ・ラマ法王

(チベット仏教の政治・宗教の最高責任者)

「君(＝麻原尊師)が日本に本当の宗教を広めなさい。君ならそれができる。」
(87年 インド・ダラムサラーにて)
「オウム真理教は宗教的・社会的活動を通じて、人々の覚醒を促すよう努力する団体です。瞑想の実践方法を人々に指導するとともに、オウム真理教の人たちは大乗仏教の伝統を引き続き実践しています。」(89年5月 親書)



カムトゥール・リンポチェ師

(元ダライ・ラマ法王宗教局長：
チベット仏教ニンマ派の高僧)

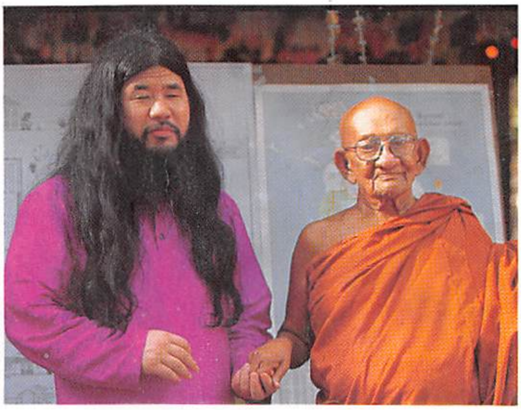
「あなた(＝麻原尊師)は高い悟りを得ている。イェシェ(完全なる絶対なる神の叡智)のステージだ。完全にあなたの生きている意味合いは、衆生を済度するためである。」
(91年5月 インド・ダラムサラーにて)
「麻原尊師は、公の協力が得られた場合には、真に多くの人々に受け入れられる仏教の師として、日本に真の法を再び確立できるお方です。」
(89年5月 親書)



故カール・リンポチェ師

(チベット仏教カギュ派総帥)

「今生のわたしたちは大きな好運に恵まれています。それは、仏陀(覚者＝目覚めた人)が現われて法を説き、その法が今なお存在している時代に、わたしたちは転生したからです。……それは皆さんのグル、麻原尊師です。」
(88年8月 オウム真理教福岡支部道場にて)
「尊師は偉大な智慧と、偉大な法の理解、そして大いなる愛、すべてのものを助けようという願望をお持ちです。」(88年 同名古屋支部道場にて)



アーナンダ・マイトリー高弟

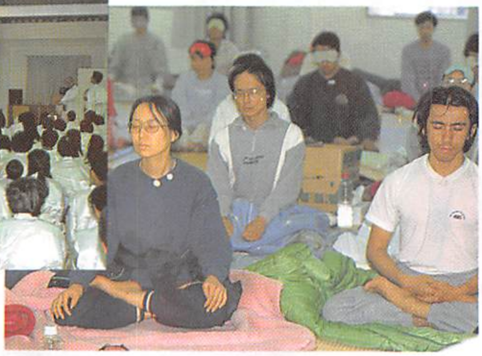
(仏教国スリランカナンバーワンの瞑想家であり学者として同国国民に尊敬を受けている聖者：高弟とは「長老」の意)

「初めて尊師にお会いしたとき、尊師が今の時代、この地球に現われた偉大な聖者であることを理解しました。尊師は偉大な宗教的師です。精神的に非常に高いレベルに達している方です。わたしは多くの修行者、グル(宗教的指導者)に会いましたが、尊師ほど素晴らしいグルには会ったことがありません。」
(92年5月 スリランカ・バランゴダにて)

救済の団体オウム真理教

音楽・医療・科学など最終解脱者、麻原尊師の叡智によって、すべての救済を実現するために多彩な活動を展開しています。

出家修行

究極の解脱・悟りを目指して、現在、800名の弟子たちが麻原尊師の指導のもとに出家し、修行に取り組んでいます。

本支部活動



東京・南青山の東京総本部道場を中心に、全国に22の本部・支部・出張所が開設されています。93年には、さらに多くの道場が開設される予定です。



修行の土台は、功徳を積むことです。本・支部道場では、活発に奉仕活動も行なわれています。



すべての人に幸福を……。麻原尊師のもとで激しい修行の末に解脱に到達した弟子たちが、指導に当たっています。

説法会




正法を説く。すべての法則に精通された尊師の説法は、湧き出る泉のように尽きることがありません。





講演会

東京大学、京都大学などの有名大学で講演会を開催。どの会場においても好評を博しました。

一人でも多くの方に健康を。西洋医学、東洋医学などすべての医学を包含する新しい医療を目指しています。オウム真理教の新しい医療は、数々の難病に効果を収め、特にガン患者においては奇跡的ともいえる治癒例、延命例が数多く報告されています。

オウム真理教附属医院は、九〇年六月に厚生省の認可を得て開設されました。



医療活動





新聞

独自に新聞印刷工場を設置。オウム真理教のラジオ放送の話題を中心とした『世紀末ニュース』などの新聞を発刊。



ラジオ放送「エウアンゲリオン・テス・バシレイアス」

マスメディアを使って、麻原尊師の教えの流布に努めています。1991年4月から日本語放送がスタート。現在毎日3時間の放送を続けています。同6月からは、全世界に向けた英語放送もスタート。また、ロシアでは、旧ソ連邦全土をカバーするロシア語のラジオ放送（毎日）、テレビ放送（週1回）も行なわれています。

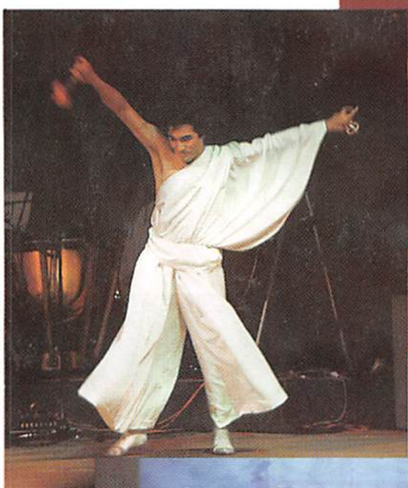
音楽活動

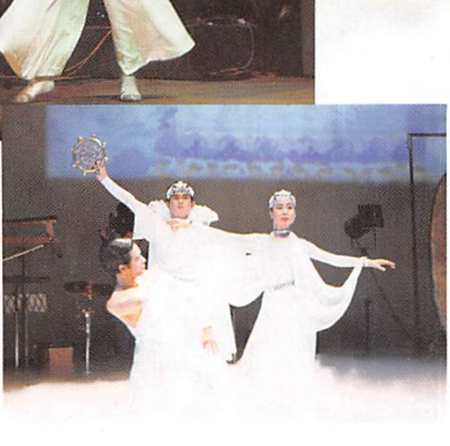


瞑想体験をもとに尊師自ら作曲されたアストラル音楽を発表。アストラル音楽コンサートは多くの人を安らぎへと誘いました。

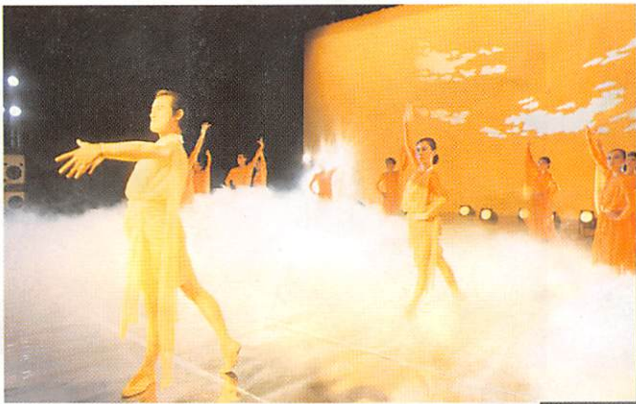


91年には尊師が脚本から演出まですべてをつとめられたダンスオペレッタ「死と転生」全国公演を開催。後にモスクワ、スリランカでの海外公演も行なわれ、満員の観客に好評を博しました。









アニメーションと舞踏によって仏典の世界を表現した「創世期」の全国公演。



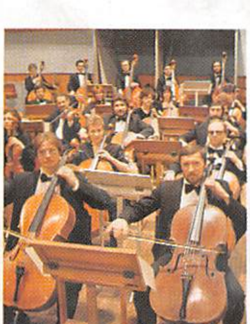






九二年ロシア・オウム真理教シンフォニー・オーケストラ「キーレーン」を結成。九三年五月より日本公演を全国で開催。







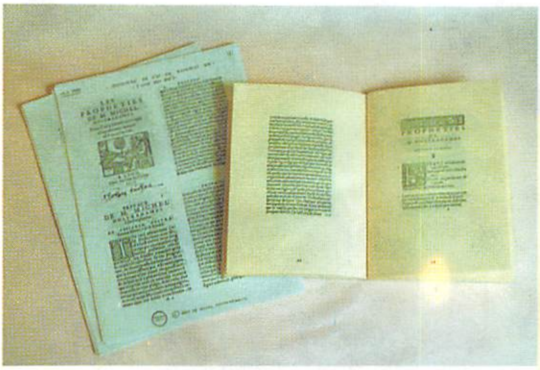
出版

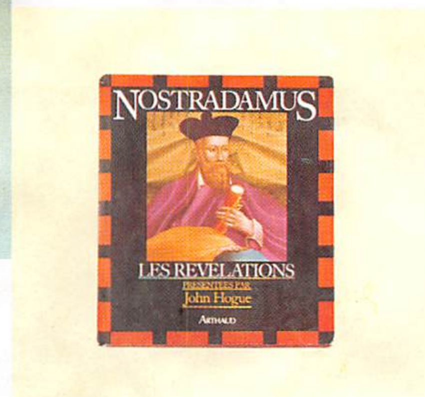
麻原尊師は『生死を超える』『マハーヤーナ・スートラ』をはじめとした文筆活動にも力を注がれています。これらの本は、編集からデザイン・印刷・製本まですべてを出家修行者が行ない、真理の法則の流布に努めています。



経典研究

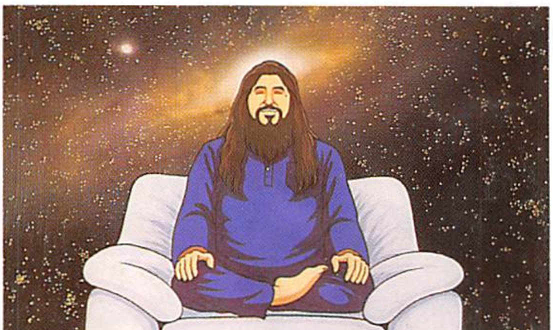
尊師を中心に、サキャ神賢真理勝者の法則が最も正確に残されているとされるパーリ語経典の研究が行なわれています。この研究成果は、『根源仏典』シリーズとして発刊、初の完全現代語訳の経典として発表されました。また、様々なチベット語、英語の経典などの研究を行なっています。





予言研究

「ヨハネの黙示録」をはじめ、新約・旧約聖書の研究、16世紀の偉大な予言者ノストラダムスの予言詩集の研究を尊師を中心に行なっています。その研究成果は、書籍、ラジオなどで発表されています。





アニメーションの制作

麻原尊師原作の「超越神力」シリーズ、経典を題材にした仏典アニメなどの制作を行なっています。





建築

CBI（コスミック・ビルディング・インスティテュート）により、富士山総本部道場をはじめとして数多くの道場を建設しています。

科学

偉大なる科学者でもある尊師の示唆のもとに、専門的に科学を学んでいた弟子たちが21世紀の救済を目指してさまざまな先端技術を駆使した研究を行なっています。





イニシエーション開発

最先端バイオテクノロジーを駆使し、イニシエーションの開発を行なっています。

食品開発

より微細で、より安心して食べることのできるものを……。イニシエーション化した食品の開発も行なっています。





工場運営

独自の精密機械工場、印刷・製本工場そして新聞印刷工場を運営しています。

世界との交流――広がる救済活動

ロシアで







モスクワ大学、モスクワ工科物理大学、モスクワ国際関係大学などで尊師の講演会が行なわれ、超満員の聴衆に大反響を呼びました



麻原彰晃尊師はじめとするオウム真理教のメンバー約300名は、92年3月ロシア共和国に公式招待されました



モスクワの中心部にオウム真理教モスクワ支部が開設。急速に救済活動が進んでいます



クレムリン大会宮殿でのダンスオペレッタ……「死と転生」公演は、6000人を収容する同会場を埋め尽くすほどの盛況ぶりでした

ラオスで

講演を行なう麻原尊師





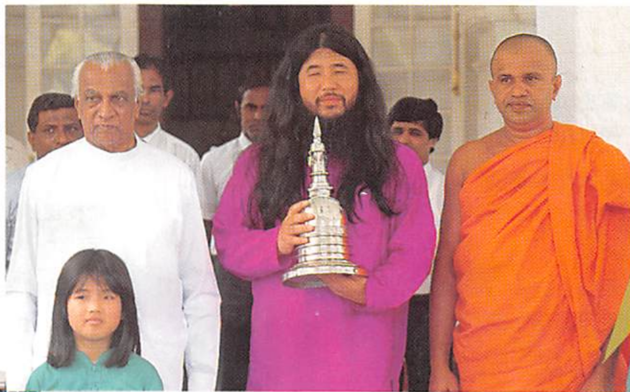


尊師は仏教国ラオスにおいても国賓として迎えられ、大歓迎を受けました

スリランカで



スリランカの救済のためにＡＳＳＡ（オウム・サッチャ・サンガ・アソシエーション）を設立。生活困窮者たちがテーラヴァーダ仏教を学びながら自立できるように様々な援助を行なっている。



総理大臣Ｄ・Ｂ・ビジェトゥンガ氏（現大統領）より仏舎利（仏陀釈迦牟尼の遺骨）を受け取る尊師



世界を代表する仏教者も集った「国際仏教者会議」で講演を行なう尊師。



尊師を歓迎して集まったスリランカの民衆（ゲートの文字からは手作りの温かさが伝わってくる）

ザイールで



92年10月中央アフリカのザイール共和国を訪問。飢餓・疫病問題に苦しむ人々のために、医療スタッフを派遣しての食品及び医薬品の援助を行なった。



モンセンゴ国民議会議長に医薬品を手渡される尊師。

医師資格、看護婦資格を持つ出家修行者、信徒による医療活動

ブータンで

国王と



法王と



92年７月、尊師はブータンを訪問し、国王ならびに法王と会見。

本部・各支部のご案内

富士山総本部 0544(54)1267
〒418-01 静岡県富士宮市人穴381-1

東京総本部 03(5467)2745
〒107 東京都港区南青山7-5-12
マハーポーシャビル2·3F

世田谷道場 03(3327)8565
〒156 東京都世田谷区赤堤2-42-5
杉田村松ビル1F

杉並道場 03(3396)9393
〒167 東京都杉並区下井草4-4-4
井口ビル2F

札幌支部 011(241)4938
〒060 北海道札幌市中央区北2条西2丁目
19-1 チサンホテル本館2F

仙台支部 022(268)3904
〒982 宮城県仙台市若林区河原町1-4-20
十全会ビル2F

水戸支部 0292(26)8044
〒310 茨城県水戸市中央2-2-1 HDビル6F

高崎支部 0273(46)1573
〒370-12 群馬県高崎市倉賀野町
下稲荷前1081-5

船橋支部 0474(66)4965
〒274 千葉県船橋市新高根6-26-18

横浜支部 045(243)8079
〒231 神奈川県横浜市中区若葉町3-41-2
コスモ伊勢佐木長者町ビル204

金沢支部 0762(51)8457
〒920 石川県金沢市京町25-20
ソフトオフィスビル2+4 2F

松本支部 0263(28)7429
〒399 長野県松本市芳川野溝527-3

福井支部 0776(26)6145
〒910 福井県福井市御幸3-3-41 東伸ビル2F

名古屋支部 052(252)0709
〒460 愛知県名古屋市中区栄5-8-14
万国ビル3F

京都支部 075(371)3759
〒600 京都府京都市下京区堀川通り松原
上ル五軒町384 松本ビル2F

大阪支部 06(251)4264
〒541 大阪府大阪市中央区久太郎町3-2-15
マルイビル1F·B1F

堺支部 0722(21)1843
〒590 大阪府堺市海山町4-168-9

和歌山支部 0734(24)2859
〒640 和歌山県和歌山市駿河町42
和歌山酒販会館2F

広島支部 082(264)6250
〒732 広島県広島市南区西蟹屋4-4-18
和田ビル3F

高知支部 0888(84)8286
〒780 高知県高知市はりまや町2-8-8
安藤ビル2F

福岡支部 092(474)2877
〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前2-6-15
第一渡部ビル6F

那覇支部 098 (869) 7707
〒902 沖縄県那覇市安里2-4-12
嘉数グラビアハイツ5F

深谷出張所 0485(74)6205
〒366 埼玉県深谷市萱場441-8

渋谷出張所 03(3476)5065
〒150 東京都渋谷区道玄坂1-15-3
プリメーラ道玄坂317号

〈海外支部〉

ニューヨーク支部 212(421)3687
8 East 48th St. #2E (2nd Floor), New York, N.Y. 10017 U.S.A.

ボン支部 (0228)616647
Auf dem Hügel 48, Endenich, 5300 Bonn 1, S.R.Germany

スリランカ支部
(AUM SACCA SAṄGHA ASSOCIATION)
Horahena, Watte, Angulugaha, Galle, Sri Lanka

モスクワ支部 7-095-455-95-32
Kindergarten No.468, 32A Petrozavodskaya ul. Moscow, 125475 Russia

※資料請求券を貼付けしたハガキ、または電話にて最寄りの本·支部までご連絡ください。
入信案内等、詳しい資料をお送りします。

資料請求券
KP

